

クラブライセンス取得に関する状況報告

2019年4月4日

株式会社山陰スポーツネットワーク



本日の予定

登壇者 株式会社山陰スポーツネットワーク 代表取締役会長 太田 敦久
株式会社山陰スポーツネットワーク 代表取締役社長 中村 律

予定 (1)代表取締役会長 太田敦久 の挨拶

(2)状況説明(代表取締役社長 中村 律)

- ・リーグ審査の受審状況
- ・経営状況ならびに収支見通し
- ・2019/6決算に向けての施策

(3)質疑応答



「Bリーグクラブライセンス交付規則」について

	<p>ガイドライン」に従って、エンブレム等に関する商標が取得済みであるかまたは出願中であることあるいは商標登録出願のための準備が速やかに始められる状態であること。</p> <p>(2) 提出資料</p> <p>ライセンス申請者は、以下の資料を申請期日までに、ライセンス事務局に提出しなければならない。</p> <p>① 登録済証</p> <p>② 出願したことまたは出願のための準備の状況が分かる資料</p>
--	--

第10章 財務基準

第23条〔財務基準〕

- (1) 財務基準の目的は以下のとおりとする。
- ① Bリーグの安定的な開催を保護すること
 - ② 財務面でのフェアプレーを監視すること
 - ③ クラブの財務状況を向上させること
 - ④ クラブの財務状況を安定させること
 - ⑤ クラブの透明性を確保すること
 - ⑥ クラブの信頼性を維持すること
 - ⑦ 債権者等クラブの利害関係者の保護を重視すること
- (2) 財務基準を以下のとおり定める。

基準番号	等級	内 容
F.01	A	<p>利益基準</p> <p>(1) 基準</p> <p>ライセンス申請者の計算書類において、3期連続で当期純損失を計上した場合は、本基準は充足しないものと判定する。決算期変更により事業年度が1年未満の場合の判定方法はライセンスマネージャーが決定するものとする。</p> <p>本基準は、2018年7月から導入されるものとする。したがって、6月決算の場合、2017年6月期、2018年6月期、2019年6月期の3期が最初の判定対象となる。</p> <p>(2) 提出資料</p>

		<p>① ライセンス申請者は、以下の資料を事業年度終了後3カ月以内に事務局に提出しなければならない。</p> <p>イ 計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）</p> <p>ロ 法人税確定申告書一式（別表・勘定科目内訳書などを含む税務署に提出した書類全て）</p> <p>ハ 勘定科目目細（ロで税務署に提出する勘定科目内訳書が含まれている場合は不要）</p> <p>ニ 固定資産減価償却内訳表</p> <p>ホ 監査役監査報告書（写し）</p> <p>ヘ 株主一覧表（決算日現在の全株主）</p> <p>ト 前年度の損益実績表（Bリーグ指定様式）</p> <p>チ 子会社および実質的に支配している会社等（社団法人、特定非営利活動法人を含む）を保有している場合には、当該会社等のイからハまでの資料</p> <p>② ライセンス申請者は、以下の資料を申請期日までに、ライセンス事務局に提出しなければならない。</p> <p>イ 今年度の損益見込み（書式自由。ただし、事業年度の開始から9月末日または10月末日までの各科目の実績数値を必ず記載すること）</p> <p>ロ 資金繰り予測表（書式自由。ただし、事業年度の開始から9月末日または10月末日までの実績数値を記載し、翌年の9月までの予測数値を必ず記載すること）</p>
F.02	B1 : A B2 : B	<p>純資産基準</p> <p>本基準は、B1ライセンスにおいてはA基準とし、B2ライセンスにおいてはB基準とする。なお、2020年の申請より、B2ライセンスにおいてもA基準に引き上げる予定である。</p> <p>(1) 基準</p> <p>ライセンス申請者は、債務超過であってはならない。ライセンス申請者の計算書類において、申請期日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合は、本基準は充足しないものとする。本基準は、2017年7月に導入されるものとする。したがって、6月決算の場合、2018年6月期が最初の判定対象となる。</p> <p>(2) 提出資料</p>

リーグ審査受審状況

- 2018年9月 2019-20クラブライセンス申請(B1)
- 2018年11月 2017-18クラブ決算概要発表
→3期連続赤字であるとBライセンス不交付の旨、通知を受ける
- 2019年3月 B.LEAGUEクラブライセンス第1回判定結果発表(理事会/諮問委員会)
→「3期連続赤字はB1、B2ライセンス不交付となり、現状の島根の盛り上がりを考えると、黒字化に向けて推進して頂きたい。」
・「ついでには、ライセンスG、クラブのステークホルダーとよく連携頂き、ライセンス交付に向けた道筋を模索して頂きたい。」
- 2019年4月 B.LEAGUEに黒字化に向けての推進状況の報告
2019年4月3日 クラブライセンス諮問会議開催
.....
- 2019年4月9日 B.LEAGUE理事会にて決議後、クラブライセンス第2回判定結果発表



経営状況ならびに収支見通し

	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19(見通し)
売上(千円)	243,876	306,134	412,549	-
利益(千円)	-46,007	-60,676	-110,706	黒字化に道筋
入場者数(人)	42,931	45,042	67,167	55,000~57,000
BC入会者数(人)	3,248	2,392	2,754	2,300
POSITION	bj最終年	B2準優勝	B1最下位	B2西地区

<参考> 2016-17シーズンURL https://www.bleague.jp/files/user/about/pdf/financial_settlement_2016.pdf
2017-18シーズンURL https://www.bleague.jp/files/user/about/pdf/financial_settlement_2017.pdf

【収支に折り込んでいる主な要素】

- (1)観客数増加分の入場料収入
- (2)プレイオフ進出(スポンサー売上)
- (3)ステークホルダーによる売上増
- (4)後援会収入

【収支に折り込んでいない主な要素】

- (1)プレイオフホーム開催(売上、入場者数)
- (2)B.LEAGUE賞金
- (3)資産の売却
- (4)オフシーズンイベント



今後の施策

(1) 興行収入増加

■ 4/5、6 SUSANOO SUPER GAMES 対熊本戦(事前販売【4/5】1,612【4/6】2,435)

* B.LEAGUE初のショートスリーブユニ、直良氏の告知ポスター

■ 4/13,14 レギュラーシーズンHOME最終戦 対愛媛オレンジバイキングス戦



PLAY OFF HOME開催につなげたい(興行売上、スポンサー売上大幅UP)

(2) サポート会員10000人プロジェクト(～6/末)

(3) 後援会募集(～6/末)

(4) オフシーズンイベント(～6/末)

等

